

# Cisco IOS ソフトウェアが稼働している Cisco Catalyst スイッチでの vlan.dat の管理

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[vlan.dat ファイルの管理](#)

[スイッチの起動時](#)

[ファイル名と場所](#)

[VLAN 情報の表示](#)

[VLAN 情報のデフォルトへのリセット](#)

[vlan.dat ファイルの回復](#)

[vlan.dat のバックアップとリストア](#)

[Archive Management による vlan.dat のアーカイブ](#)

[VLAN 情報と冗長性](#)

[関連情報](#)

## 概要

Cisco IOS<sup>®</sup> ソフトウェア リリースを実行する Cisco Catalyst スイッチは vlan.dat と名付けられる特殊なファイルの VLAN 情報を維持します。この資料はこのファイルの目的、および方法をファイルを管理する説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Catalyst スイッチの動作の仕組みを理解していること。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1(26)E1 が稼働している Cisco Catalyst 6500 スイッチ
- Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1(22)EA9 が稼働している Cisco Catalyst 2950 スイッチ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## [関連製品](#)

このドキュメントは、次のバージョンのハードウェアとソフトウェアにも使用できます。

- Cisco IOS が稼働している Cisco Catalyst 6000、4500、4000 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 3750、3750E、3560、3560E、3550、2970、2960、2955、2950、および 2940 シリーズ スイッチ

## [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [背景説明](#)

CatOS での VLAN または VTP の設定変更は、変更直後に NVRAM に書き込まれます。それに対して、Cisco IOS ソフトウェアは NVRAM に `copy run start` コマンドを発行しなければコンフィギュレーション変更を保存しません。

VTP クライアントおよびサーバシステムでは、他の VTP サーバからの VTP アップデートが、ユーザの介入なしにすぐに NVRAM に保存される必要があります。CatOS のデフォルトの動作は VTP アップデートの要件を満たしますが、Cisco IOS ソフトウェアのアップデート モデルではこれに代わるアップデート動作が必要になります。このため、Catalyst スイッチ用の Cisco IOS ソフトウェアでは VLAN データベースが導入されています。これは、VTP クライアントおよびサーバのための VTP アップデートを即座に保存するために導入されたものです。この VLAN データベースは `vlan.dat` ファイルという名前の別個のファイルの形式で NVRAM に保存されています。

## [vlan.dat ファイルの管理](#)

### [スイッチの起動時](#)

スイッチでは起動時に `vlan.dat` ファイルの内容と `startup-config` の設定との比較により、`vlan.dat` と `startup-config` のどちらの情報を使用するかが判断されます。VTP モード、ドメイン名、および VLAN 設定をスイッチの `startup-config` ファイルに保存してスイッチをリブートした場合は、次の条件に基づいて VTP 設定と VLAN 設定が選択されます。

- VLAN データベースと設定ファイルの両方において、VTP モードがトランスペアレントで VTP ドメイン名が一致している場合は、VLAN データベースが無視されます。スタートアップ コンフィギュレーション ファイルの VTP 設定と VLAN 設定が使用されます。VLAN データベースのリビジョン番号は、VLAN データベース内で変更されないままになります。

- ・起動 VTP モードがサーバ モードの場合、あるいは起動 VTP モードまたはドメイン名が VLAN データベースと一致しない場合、VLAN データベースの情報 ( vlan.dat ファイルなど ) によって最初の 1005 VLAN の VTP モードと VLAN 設定が選択されます。1005 より大きい VLAN は、スイッチの設定ファイルで設定されます。

vlan.dat ファイルがない場合、または vlan.dat ファイルが読み込めない場合、スイッチは次の状態で起動します。

Attribute	デフォルトの値
VTP モード	server
VTP ドメイン名	( 名前なし/空 )
VLAN	1、1002-1005

## [ファイル名と場所](#)

デフォルトでは、VLAN データベースのファイル名は `vlan.dat` です。

ファイルの名前を変更するのに **VTP ファイル** `<filename>` コマンドを使用できます。 `vtp file` コマンドは新しいデータベースのロードには使用できません。このコマンドは、既存のデータベースが保存されているファイルの名前変更にものみ使用できます。

次の例は、VTP 設定が保存されている IFS ファイル システム ファイルの指定方法を示しています。

```
Switch(config)#vtp file vtpconfig
Setting device to store VLAN database at filename vtpconfig.
Switch(config)#
```

スイッチからアクセスできるのは、NVRAM に保存されている `vlan.dat` だけです。 `vlan.dat` ファイルは、バックアップのためにその場所からコピーすることができます。 `vlan.dat` ファイルが保存されるメモリの場所はデバイスによって異なります。 `copy` コマンドを発行する前に、それぞれの製品マニュアルを参照してください。

Cisco Catalyst 6500/6000 シリーズ スイッチでは、 `const_nvram:` です。同様に、Catalyst 4500/4000 スイッチの場合は、 `cat4000_flash:` です。Cisco Catalyst 29xx シリーズおよび Cisco Catalyst 35xx、3750 シリーズの場合は、 `flash:` になります。

```
Cat6K-IOS#dir const_nvram:
Directory of const_nvram:/
1 -rwx 856 <no date> vlan.dat
129004 bytes total (128148 bytes free)
```

## [VLAN 情報の表示](#)

バイナリ `vlan.dat` ファイルで保存されるすべての VLAN 構成を、VLAN ID 表示するために、名前、等、 `showvlan` コマンドを発行して下さい。

`show vtp status` コマンドを使用すると、VTP 情報、モード、およびドメインなどを表示できます。

スイッチが VTP サーバまたはクライアント モードの場合、 `show running-config` コマンド出力には VLAN 情報や VTP 情報は表示されません。これはスイッチの通常の動作です。

```
Switch#show run | include vlan
vlan internal allocation policy ascending
```

```
Switch#
```

```
Switch#show run | include vtp  
Switch#
```

VTP トランスペアレント モードのスイッチでは、**show running-config** コマンド出力に VLAN および VTP 設定が表示されます。これは、これらの情報も設定テキスト ファイルに保存されているからです。

```
Switch#show run | include vlan  
vlan internal allocation policy ascending  
vlan 1  
  tb-vlan1 1002  
  tb-vlan2 1003  
vlan 20-21,50-51  
vlan 1002  
  tb-vlan1 1  
  tb-vlan2 1003  
vlan 1003  
  tb-vlan1 1  
  tb-vlan2 1002  
vlan 1004  
vlan 1005
```

```
Switch#show run | include vtp  
vtp domain cisco  
vtp mode transparent
```

## [VLAN 情報のデフォルトへのリセット](#)

Cisco IOS ソフトウェアが稼働している Cisco Catalyst スイッチの VLAN 設定をリセットするには、次の手順を実行してください。

この例では、Cisco Catalyst 6500 スイッチが VTP クライアント モードになっています。VLAN 情報をリセットするには、vlan.dat ファイルを削除し、スイッチをリロードします。

### 1. **show vtp status** コマンドと **show vlan** コマンドを発行して、元の VTP/VLAN 情報を確認します。

Cat6K-IOS#**show vtp status**

```
VTP Version : 2  
Configuration Revision : 0  
Maximum VLANs supported locally : 1005  
Number of existing VLANs : 12  
VTP Operating Mode : Client  
VTP Domain Name : Cisco123  
VTP Pruning Mode : Enabled  
VTP V2 Mode : Disabled  
VTP Traps Generation : Disabled  
MD5 digest : 0xDF 0xCE 0x47 0x0B 0xD0 0x3F 0xEA 0x18  
Configuration last modified by 0.0.0.0 at 0-0-00 00:00:00  
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface found)
```

Cat6K-IOS#Cat6K-IOS#**show vlan**

VLAN Name	Status	Ports
1 default	active	Fa3/11, Fa3/16
5 VLAN0005	active	Fa3/1
10 VLAN0010	active	Fa3/5
20 Management_Vlan	active	Fa3/7, Fa3/9, Fa3/24
30 SW-3_PCs_Vlan	active	
40 SW-1_PCs_Vlan	active	
50 IP_Phone_Voice_Vlan	active	

```

60 Guest_Fail_Vlan          active
1002 fddi-default           act/unsup
1003 token-ring-default     act/unsup
1004 fddinet-default        act/unsup
1005 trnet-default          act/unsup

```

```

VLAN Type SAID      MTU   Parent RingNo BridgeNo Stp  BrdgMode Trans1 Trans2
-----
1   enet  100001  1500 -     -     -     -   -       0      0
5   enet  100005  1500 -     -     -     -   -       0      0
10  enet  100010  1500 -     -     -     -   -       0      0

```

!--- Rest of the output elided

## 2. vlan.dat ファイルの状態を確認します。Cat6K-IOS#dir const\_nvram:

```

Directory of const_nvram:/
 1 -rw-          976                <no date>  vlan.dat
129004 bytes total (128028 bytes free)

```

Cat6K-IOS#注: vlan.dat ファイルが保存されるメモリの場所はデバイスによって異なります。詳細についてはこの資料の [Filenameand Location セクション](#)を参照して下さい。

## 3. vlan.dat NVRAM 注: NVRAM 手順については、「[vlan.dat のバックアップとリストア](#)」セクションを参照してください。Cat6K-IOS#delete const\_nvram:vlan.dat

```

Delete filename [vlan.dat]?
Delete const_nvram:vlan.dat? [confirm]

```

```

Cat6K-IOS#dir const_nvram:
Directory of const_nvram:/
 1 -rw-          0                <no date>  vlan.dat
129004 bytes total (129004 bytes free)

```

Cat6K-IOS#vlan.dat ファイルのサイズがゼロ ( 0 ) であることに注意してください。

## 4. スイッチをリロードします。Cat6K-IOS#reload

```

Proceed with reload? [confirm]
!--- Rest of the output no displayed.

```

## 5. スイッチが起動したら、VLAN 情報がデフォルト値に設定されているかどうかを確認します。デフォルト値は、「スイッチの起動時」セクションの表を参照してください。Cat6K-

```

IOS#show vtp status
VTP Version                : 2
Configuration Revision     : 0
Maximum VLANs supported locally : 1005
Number of existing VLANs   : 5
VTP Operating Mode         : Server
VTP Domain Name            :
VTP Pruning Mode           : Disabled
VTP V2 Mode                 : Disabled
VTP Traps Generation       : Disabled
MD5 digest                  : 0x57 0xCD 0x40 0x65 0x63 0x59 0x47 0xBD
Configuration last modified by 0.0.0.0 at 0-0-00 00:00:00
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface found)
Cat6K-IOS#show vlan

```

```

VLAN Name                Status      Ports
-----
1   default                active     Fa3/11, Fa3/16
1002 fddi-default           act/unsup
1003 token-ring-default   act/unsup
1004 fddinet-default       act/unsup
1005 trnet-default        act/unsup

```

```

VLAN Type SAID      MTU   Parent RingNo BridgeNo Stp  BrdgMode Trans1 Trans2
-----
1   enet  100001  1500 -     -     -     -   -       0      0
1002 fddi  101002  1500 -     -     -     -   -       0      0

```

```

1003 tr      101003      1500 -      -      -      -      -      0      0
1004 fdnet  101004      1500 -      -      -      ieee -      0      0
1005 trnet  101005      1500 -      -      -      ibm  -      0      0

```

Remote SPAN VLANs

```

-----
Primary Secondary Type          Ports
-----

```

Cat6K-IOS#Cat6K-IOS#dir const\_nvram:

Directory of const\_nvram:/

```

  1  -rw-          0          <no date>  vlan.dat

```

129004 bytes total (129004 bytes free)

Cat6K-IOS#この時点で、VTP VLAN 設定の変更を次の 2 つの方法でトリガーできます。デバイスのユーザ設定 ( CLI/SNMP ) 同じ VTP ドメインにある他のデバイスからの VTP のアップデートこのことは、スイッチが元々クライアントモードであったとしても、単に保存されている他の設定を適用しただけではクライアントモードには戻せないことを意味します。スイッチをクライアントモードに戻すには、ネットワーク管理者がグローバル コンフィギュレーションモードで **vtp mode client** コマンドを使用して手作業でシステムを設定する必要があります。

## [vlan.dat ファイルの回復](#)

vlan.dat ファイルが誤って削除されて、スイッチがリロードされると、スイッチで使用可能だったすべての VLAN が失われます。スイッチがリロードされるまで、この VLAN 情報がスイッチに存在することになります。

1. vlan.dat ファイルを回復するには、次の手順を実行します。
2. **show vlan** コマンドを発行して、VLAN 情報が使用可能であることを確認します。

Switch#show vlan

```

VLAN Name                Status      Ports
-----
1    default                active     Fa0/1, Fa0/2, Fa0/3, Fa0/4
                                           Fa0/5, Fa0/6, Fa0/7, Fa0/8
                                           Fa0/10, Fa0/11, Fa0/12, Gi0/1
                                           Gi0/2
10   VLAN0010               active
11   VLAN0011               active
20   VLAN0020               active
21   VLAN0021               active
30   VLAN0030               active
31   VLAN0031               active
40   VLAN0040               active
41   VLAN0041               active
50   Vlan50                 active
100  100thVLAN              active

```

3. スイッチが VTP サーバか透過モードにある場合、VLAN データベースへの修正を行って下さい。VLAN データベースには、次のいずれの変更でも行えます。VLAN を作成する。任意の VLAN を削除する。既存の VLAN のアトリビュートの変更スイッチが VTP クライアントモードの場合、同じドメインの任意の VTP サーバーで VLAN データベースを変更します。

Switch#configure terminal

Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

Switch(config)#vlan 50

```
Switch(config-vlan)#name 50thVLAN
Switch(config-vlan)#end
```

Switch#いずれかの変更を VLAN データベースで行えば、vlan.dat ファイルがスイッチで自動的に作成されます。

4. vlan.dat ファイルの作成を確認するには、**show flash:** コマンドを発行します。Switch#**show flash:**

```
Directory of flash:/
 2  -rwx          5   Mar 01 1993 00:04:47  private-config.text
 3  -rwx       2980487 Mar 02 1993 06:08:14  c2950-i6q412-mz.121-19.EA1a.bin
 4  -rwx         1156  Mar 01 1993 01:51:27  vlan.dat
16  -rwx         1014  Mar 01 1993 00:04:47  config.text
 6  drwx         4096  Mar 02 1993 03:49:26  html
 7  -rwx       3121383 Mar 02 1993 03:47:52  c2950-i6q412-mz.121-22.EA9.bin
```

7741440 bytes total (65536 bytes free)注: vlan.dat ファイルが保存されるメモリの場所はデバイスによって異なります。詳細については [Filename and Location セクション](#) を参照して下さい。

## [vlan.dat のバックアップとリストア](#)

ネットワーク管理者が、特に VTP サーバシステム用に、vlan.dat ファイルのバックアップを必要とする場合があります。vlan.dat ファイルは他のどのファイル (ブートフラッシュも、disk0 と同じ場所に保存されます支持することができます:、bootdisk:、tftp:、ftp:、等)。他の場所へのコピーはできますが、読み込みが可能なのは NVRAM からだけです。

設定を完全にバックアップするには、設定とともに vlan.dat ファイルをバックアップに含める必要があります。その後、スイッチ全体またはスーパーバイザ エンジン モジュールを交換する必要がある場合は、ネットワーク管理者が次のファイルを両方ともアップロードして、設定全体を回復する必要があります。

- vlan.dat ファイル
- コンフィギュレーション ファイル

Stateful Switchover ( SSO ) を実行している場合は、デュアル スーパーバイザ環境に影響が及びます。ファイル同期化へのファイルが NVRAM にだけ利用できるため、vlan.dat が bootflash: のような非 NVRAM 位置にある場合、アクティブとスタンバイスーパーバイザ間に vlan.dat ファイル同期化がありません。その代わりに、スタンバイ SP が新しい VLAN データを受け取る際に、これがスタンバイ vlan.dat の設定に書き込まれます。

最後に、保存されている vlan.dat をすでに起動しているシステムに適用する場合は、新しく適用した vlan.dat 設定を有効にするためにシステムをリロードする必要があります。

1. **show vtp status** コマンドと **show vlan** コマンドを発行して、元の VTP/VLAN 情報を確認します。Cat6K-IOS#**show vtp status**

```
VTP Version                : 2
Configuration Revision     : 0
Maximum VLANs supported locally : 1005
Number of existing VLANs : 12
VTP Operating Mode        : Client
VTP Domain Name           : Cisco123
VTP Pruning Mode          : Enabled
VTP V2 Mode                : Disabled
VTP Traps Generation      : Disabled
MD5 digest                 : 0xDF 0xCE 0x47 0x0B 0xD0 0x3F 0xEA 0x18
Configuration last modified by 0.0.0.0 at 0-0-00 00:00:00
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface found)
```

Cat6K-IOS#

Cat6K-IOS#**show vlan**

```
VLAN Name                Status    Ports
-----
1    default                 active    Fa3/11, Fa3/16
5    VLAN0005                active    Fa3/1
10   VLAN0010                active    Fa3/5
20   Management_Vlan        active    Fa3/7, Fa3/9, Fa3/24
30   SW-3_PCs_Vlan          active
40   SW-1_PCs_Vlan          active
50   IP_Phone_Voice_Vlan    active
60   Guest_Fail_Vlan        active
1002 fddi-default            act/unsup
1003 token-ring-default    act/unsup
1004 fddinet-default        act/unsup
1005 trnet-default          act/unsup
```

```
VLAN Type  SAID      MTU    Parent RingNo BridgeNo Stp  BrdgMode Trans1 Trans2
-----
1    enet     100001    1500   -      -      -      -    -         0      0
5    enet     100005    1500   -      -      -      -    -         0      0
10   enet     100010    1500   -      -      -      -    -         0      0
```

!--- Rest of the output elided

## 2. vlan.dat ファイルの状態を確認します。Cat6K-IOS#**dir const\_nvram:**

```
Directory of const_nvram:/
 1  -rw-          976                <no date>  vlan.dat
129004 bytes total (128028 bytes free)
```

Cat6K-IOS#**注:** vlan.dat ファイルが保存されるメモリの場所はデバイスによって異なります。詳細については [Filename and Location セクション](#)を参照して下さい。

## 3. 既存の vlan.dat ファイルをバックアップします。Cat6K-IOS#**copy const\_nvram:vlan.dat bootflash:vlan.dat**

```
Destination filename [vlan.dat]?
976 bytes copied in 0.516 secs (1891 bytes/sec)
```

Cat6K-IOS#**show bootflash:**

```
-#- ED ----type---- --crc--- -seek-- nlen -length- -----date/time----- n
ame
1  .. image          C32839CA 2349AC 30 1788204 May 31 2006 18:15:50 +00:00 c
6msfc2-boot-mz.121-13.E17.bin
2  .. unknown        1D1450E8 234DFC 8    976 Dec 01 2008 01:43:18 +00:00 v
lan.dat
```

13414916 bytes available (1789436 bytes used)

## 4. vlan.dat NVRAM Cat6K-IOS#**delete const\_nvram:vlan.dat**

```
Delete filename [vlan.dat]?
Delete const_nvram:vlan.dat? [confirm]
```

Cat6K-IOS#**dir const\_nvram:**

```
Directory of const_nvram:/
 1  -rw-          0                <no date>  vlan.dat
129004 bytes total (129004 bytes free)
```

Cat6K-IOS#

## 5. スイッチをリロードします。Cat6K-IOS#**reload**

```
Proceed with reload? [confirm]
```

!--- Rest of the output elided

## 6. リロードした後、VTP/VLAN の情報がリセットされていることを確認します。Cat6K-



```
IOS#show vtp status
VTP Version                : 2
Configuration Revision     : 0
Maximum VLANs supported locally : 1005
Number of existing VLANs   : 5
VTP Operating Mode         : Server
VTP Domain Name            :
VTP Pruning Mode           : Disabled
VTP V2 Mode                : Disabled
VTP Traps Generation       : Disabled
MD5 digest                 : 0x57 0xCD 0x40 0x65 0x63 0x59 0x47 0xBD
Configuration last modified by 0.0.0.0 at 0-0-00 00:00:00
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface
found)既存の VLAN の数が 12 から 5 に減り、Cisco123 だったドメインが空白になってい
ることに注意してください。Cat6K-IOS#dir const_nvram:
```

```
Directory of const_nvram:/
 1 -rw-          0                <no date>  vlan.dat
129004 bytes total (129004 bytes free)
Cat6K-IOS#
```

### 7. 保存されていた vlan.dat ファイルを NVRAM にコピーします。Cat6K-IOS#copy

```
bootflash: vlan.dat const_nvram: vlan.dat
Destination filename [vlan.dat]?
976 bytes copied in 0.688 secs (1419 bytes/sec)
Cat6K-IOS#
```

```
Cat6K-IOS#dir const_nvram:
Directory of const_nvram:/
 1 -rw-          976 <no date>  vlan.dat
129004 bytes total (128028 bytes free)
Cat6K-IOS#
```

### 8. VTP のステータスに変化があるかどうかを確認します。スイッチが起動したときに vlan.dat ファイルは読み取り専用であるため、変化は見られません。変更を有効にするには、スイッチをリロードします。Cat6K-IOS#show vtp status

```
VTP Version                : 2
Configuration Revision     : 0
Maximum VLANs supported locally : 1005
Number of existing VLANs   : 5
VTP Operating Mode         : Server
VTP Domain Name            :
VTP Pruning Mode           : Disabled
VTP V2 Mode                : Disabled
VTP Traps Generation       : Disabled
MD5 digest                 : 0x57 0xCD 0x40 0x65 0x63 0x59 0x47 0xBD
Configuration last modified by 0.0.0.0 at 0-0-00 00:00:00
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface
found)
Cat6K-IOS#
```

### 9. スwitchをリロードします。Cat6K-IOS#reload

```
Proceed with reload? [confirm]
!--- Rest of the output elided
```

### 10. スwitchが起動したら、VLAN/VTP 情報が正しくリストアされたかどうかを確認します。

```
Cat6K-IOS#show vtp status
VTP Version                : 2
Configuration Revision     : 0
Maximum VLANs supported locally : 1005
Number of existing VLANs   : 12
VTP Operating Mode         : Server
VTP Domain Name            : Cisco123
VTP Pruning Mode           : Enabled
VTP V2 Mode                : Disabled
VTP Traps Generation       : Disabled
```

```
MD5 digest                : 0xDF 0xCE 0x47 0x0B 0xD0 0x3F 0xEA 0x18
Configuration last modified by 172.16.5.12 at 11-16-07 03:23:56
Local updater ID is 172.16.5.12 on interface V11 (lowest numbered VLAN interface
found)
Cat6K-IOS#Cat6K-IOS#show vlan
```

VLAN	Name	Status	Ports
1	default	active	Fa3/11, Fa3/16
5	VLAN0005	active	Fa3/1
10	VLAN0010	active	Fa3/5
20	Management_Vlan	active	Fa3/7, Fa3/9, Fa3/24
30	SW-3_PCs_Vlan	active	
40	SW-1_PCs_Vlan	active	
50	IP_Phone_Voice_Vlan	active	
60	Guest_Fail_Vlan	active	
1002	fddi-default	act/unsup	
1003	token-ring-default	act/unsup	
1004	fddinet-default	act/unsup	
1005	trnet-default	act/unsup	

VLAN	Type	SAID	MTU	Parent	RingNo	BridgeNo	Stp	BrdgMode	Trans1	Trans2
1	enet	100001	1500	-	-	-	-	-	0	0
5	enet	100005	1500	-	-	-	-	-	0	0
10	enet	100010	1500	-	-	-	-	-	0	0
20	enet	100020	1500	-	-	-	-	-	0	0

!--- Rest of the the output not shown.

## Archive Management による vlan.dat のアーカイブ

Archive Management アプリケーションでは、Resource Manager Essentials ( RME ) で管理されているデバイスの vlan.dat ファイルのアクティブなアーカイブを管理します。 次の作業を実行できます。

- デバイス設定 ( vlan.dat ファイルを含む ) の取得、およびアーカイブ
- アーカイブされたデータに対する検索やレポートの作成
- 設定 ( vlan.dat ファイルを含む ) の比較およびラベル付け

Archive Management アプリケーションについての詳細は、『[コンフィギュレーションのアーカイブと Archive Management を使用したコンフィギュレーションの管理](#)』を参照してください。

RME スイートは CiscoWorks LAN Management Solution ( LMS ) の一部、製品の CiscoWorks ファミリーのバンドルの 1 つです。 ネットワークを管理する企業向けのソリューションです。 RME は Web ベースのアプリケーションの強力なスイートであり、Cisco のスイッチ、アクセスサーバ、およびルータ向けのネットワーク管理ソリューションです。

RME とそのアプリケーションについての詳細は、『[RME の概要](#)』を参照してください。

## VLAN 情報と冗長性

スーパーバイザ エンジンの冗長構成では、デフォルト以外の VLAN データ ファイル名や位置はサポートされていません。 冗長スーパーバイザ エンジンを持つスイッチに対して、`vtp file file_name` コマンドは入力しないでください。

冗長スーパーバイザ エンジンをインストールする前に、`no vtp file` コマンドを入力して、デフォルト設定に戻します。

Route Processor Redundancy ( RPR+ ) による冗長構成では、VLAN データベース モードで入力された設定はスーパーバイザ エンジンの冗長構成でサポートされていません。RPR+ による冗長構成ではグローバル コンフィギュレーション モードを使用してください。

SSO では、アクティブ SP からスタンバイ SP への NVRAM の vlan.dat ファイルの同期が引き続き行われるため、VLAN レコードの同期の途中でスイッチオーバーが発生すると、スタンバイ側は NVRAM からバイナリ ファイルをロードして回復できます。ファイル同期化へのファイルが NVRAM にだけ利用できるため、バイナリファイルが bootflash: のような非 NVRAM 位置にある場合、VTP アクティブとスタンバイ間にバイナリ config ファイル同期化がありません。実際に vlan.dat が NVRAM にないと、スタンバイ ブートアップの際に、スタンバイ スーパーバイザがオンラインになりません。アクティブ スーパーバイザには、vlan.dat の場所を NVRAM に変更するようにユーザに伝えるエラー メッセージが表示されます。

## [関連情報](#)

- [Catalyst スイッチでのイーサネット VLAN の作成](#)
- [VLAN Trunk Protocol \( VTP \) について](#)
- [Cisco IOS が動作している Catalyst 6500/6000 シリーズおよび Catalyst 4500/4000 シリーズ スイッチのベスト プラクティス](#)
- [Catalyst 4500 シリーズ スイッチ ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド、12.2\(46\)SG](#)
- [Catalyst 6500 リリース 12.2SXH 以降のソフトウェアのコンフィギュレーション ガイド](#)
- [スイッチ製品に関するサポート ページ](#)
- [LAN スイッチングに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)